

第1回 横幹連合総合シンポジウム

開催日時

2006年12月1日(金) 13:00~17:15
~2日(土) 9:00~17:00

開催場所

キャンパス・イノベーションセンター
東京都港区芝浦3-3-6 JR田町駅「芝浦口」より30m
(地図 <http://www.zam.go.jp/e00/e0000900.htm>)

主催：横幹連合(特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合)

【横幹連合会員学会】(50音順)

応用統計学会、オフィス・オートメーション学会、可視化情報学会、形の科学会、経営情報学会、計測自動制御学会、研究・技術計画学会、国際数理科学協会、システム制御情報学会、社会・経済システム学会、情報文化学会、スケジューリング学会、精密工学会、地域安全学会、日本応用数理学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本感性工学会、日本経営工学会、日本経営システム学会、日本計算機統計学会、日本計算工学会、日本行動計量学会、日本コンピュータ化学会、日本シミュレーション学会、日本シミュレーション&ゲーミング学会、日本社会情報学会、日本植物工場学会、日本信頼性学会、日本生物工学会、日本知能情報ファジィ学会、日本デザイン学会、日本統計学会、日本時計学会、日本人間工学会、日本バーチャルリアリティ学会、日本バイオフィードバック学会、日本バイオメカニクス学会、日本品質管理学会、日本リモートセンシング学会、日本ロボット学会、ヒューマンインタフェース学会、品質工学会、プロジェクトマネジメント学会

後援：化学工学会、情報処理学会、電気学会、土木学会、日本機械学会

協賛：(財)カシオ科学振興財団、横断型基幹科学技術推進協議会

第1日目 / 12月1日(金) / 13:00 ~ 17:15 / 基調講演 + パネル討論

【基調講演】 「人工物を考える - 人工物観と横幹技術」

横幹連合会長 吉川弘之(産業技術総合研究所)

【パネル討論】 「縦と横の連携が新たなイノベーションを拓く」

日本の工学を代表する学会のトップの方々による講演の後、学連携を語り知の統合を展望するパネル討論を行います。

パネリスト： 情報処理学会 副会長 中島秀之 氏(ほこだて未来大学)
(学会名50音順) 電気学会 副会長 滝沢照広 氏(日立製作所)
土木学会 会長 濱田政則 氏(早稲田大学)
日本機械学会 会長 笠木伸英 氏(東京大学)
横幹連合 副会長 木村英紀(理化学研究所)
司会： 横幹連合 理事 安岡善文(東京大学)

第2日目 / 12月2日(土) / 9:00 ~ 17:00 / オーガナイズド・セッション

■セッションA:

自然、社会、人工物などが抱える諸問題を横断型科学技術の視点から展開し、解決策を探る。
「災害」におけるスーパー横幹科学技術の視点
「人工物の高齢化対策に対する横幹的アプローチ」
「社会問題の可視化への横幹的アプローチ」

■セッションB:

横断型科学技術を推進するための仕組み、コトつくりの方法論、さらには人材育成の課題を探る。
「コトつくりの理論とデザイン - 社会知が組織する -」
「横断型科学技術者育成の現状と課題」
「意思決定のためのシミュレーションモデル」

■セッションC:

横断的知、普遍性、共通原理などを発見、活用し、新展開を探る。
「横断型科学技術としてのSN比」
「大規模データの分類と解析技法 - 次世代型データマイニング技術の構築に向けて -」
「形を通じた領域横断的知の活用」

■特別セッション

特別セッション：経済産業省と横幹連合との連携企画。
「横幹思考と技術ロードマッピングによる異分野技術の融合」

※受付開始時間：1日目12:30~、第2日目8:30~

参加費 ※事前申込は11月24(金)まで、ホームページにて受付中です。

区分	事前申込*	当日申込
横幹連合会員学会の個人正会員	3,000円	4,000円
会員外(上記以外)	3,000円	4,000円
学生	2,000円	2,000円

第1日目のプログラム終了後に懇親会を開催します。ぜひご参加ください。
(参加費4,000円、ただし学生2,000円)

詳細・事前参加申し込み ▶ <http://www.trafst.jp/symposium2006/>

お問い合わせ ▶

特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合(略称・横幹連合、おうかんれんこう)
〒113-0033 東京都文京区本郷1-35-28-303(計測自動制御学会事務局内)

事務局 総合シンポジウム係 電話・FAX : 03-3814-4130
E-mail : symposium2006@trafst.jp



特定非営利活動法人
横断型基幹科学技術研究団体連合
NPO : Transdisciplinary Federation of Science and Technology

統合知の創成と
展開を目指して